下野コミュニティエフエム第27回放送番組審議会議事録

開催日時：2025年１月13日14時00分より	開催場所：下野市役所第301会議室
出席委員：猪瀬・川俣・松本・本橋	┆４名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全５名のうち４名の出席をもって会の成立とし、14時00分に開会した。

１．報告事項

事業者より前回審議会以降の運営報告があった。

・昨年11月20日にＪアラート緊急地震速報訓練を行い、問題なく完了した。
・昨年12月20日に開局５周年を迎え、直近の日曜である22日に開局５周年特番を実施した。
・新年１～３日には市町と議長のコメントを新年メッセージとして放送した。
・これまで「マガジン」として冊子を５年間通算20巻発行したが、今年１月からはこれを改変し16頁折りの形式として発行することとした。

（ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部放送局長）

２．審議事項

■議題①…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して各委員が意見を述べた。
※2024年11月20日放送「ゆうがおパラダイス別」

事業者：
（番組の説明）

猪瀬委員：
パーソナリティがマニアックで、起用した基準がどのようなものだったのか気になった。ただ、トークが物静かで癒やし系なのか、こういった世界観があっても良いかと思った。トイレの話題は共感できた。

本橋委員：
トークが素人風でぎこちなく、言葉の使い方もところどころ間違っているのではないか。気になる箇所が複数あったが、何か意図があるのか、そうでなければ言葉遣いをもう少し注意すべきではないか。一生懸命トークしているのに、まとまりがないように感じた。

事業者：
ご指摘の通りだが、当社のパーソナリティはほとんどが素人であり、募集したとしても応募があるのは基本的に素人で、面接の際にもテストはするが、欠員等で他に応募がない場合は採用せざるを得ない。しかし、この番組に関しては技術より内容を重視しており、トークの内容で個性を出してもらっている。
技術的な指導や注意も当然ながら行ってはいるが、プロではないため限界がある。

川俣委員：
内容的に問題はなく、一人で番組をやって１年目ということで良くやっていると思う。言葉遣いには気になるところは確かにあるが、それは今後直していただけるかと思うので、頑張っていただきたい。

松本委員長：
時間帯や人員の確保という面もあるようだが、これからも良い方に向かえば良いかと。事業者の見守りが大事かと思う。

■議題②…その他の事項について

・情報紙について委員より質問と意見があった。
・提供番組について委員より質問と意見があった。

３．その他

・次回の開催日時を事務局より提示した。

以上、15時00分に閉会した。